

和歌山県立紀央館高等学校 学校運営協議会

令和 6年度 第3回【 11月 1日（金）】

出席者：委員6名、傍聴人2名

日程

- ①紀央館高校文化祭（紀央祭）の見学
- ②協議
 - ・CLT(地域学習期間)について
 - ・生徒の様子について
 - ・今後の学校のあり方について

意見・感想など

- ・CLTについて、興味深い内容と取組が多かった。小・中学校の地域学習を基礎にして、さらに発展や工夫がみられる作品がみられた。昨年度に比べてジャンルが増えていると感じた。CLTを機会に、自分のキャリアについて考えたり、他の地域や全国のことについて興味・関心をもつ契機としてほしい。地域とコラボした企画があると、さらに広がりがあると思われる。
- ・文化祭について、教室で残っている生徒が少なく、全員が参加していた。文化クラブは部員数が減少し、作品数も限られているが、優秀な作品や展示が多かった。文化祭だけでなく、地域のイベントなどにも展示して、日常的に生徒の作品を多くの人にみてもらう機会をつくとよいと思う。展示や舞台発表など、部門ごとに審査をして賞をわたすのもよい動機付けになると思う。

まとめ（会議で出された意見と今後の対応について）

CLTについては、昨年度の本委員会の提言により、各学年ごとに代表作品の発表を行うこととした。発表の導入にともない、投票による優秀作品の選出は廃止した。クラスで全員が発表し、その中からクラス代表作品を選出して学年全体で発表し、発表も含めて投票により優秀作品を選出することとした。クラス代表の作品発表を聴くことで、次年度のCLTやそれぞれの授業、進学の際のプレゼンテーションに活かせるよう工夫し、学年を追うごとに内容を充実させた活動となるよう指導していきたい。身近なロールモデルをつくることで、生徒のやる気や、興味関心を刺激し、主体的・積極的にとりくむ姿勢を育成していきたい。

文化祭については、全員が参加しているとの評価をいただいた。また、新成会も食品バザーを出店してくれるなど、コロナ禍以前の状態に戻りつつある。生徒が当事者意識を持って行事に参加できるよう指導していきたい。